

覚 書 (案)

今治市（以下「甲」という。）と四電エナジーサービス株式会社（以下「乙」という。）及び
〇〇〇〇（以下「丙」という。）は、令和 年 月 日付で甲と乙が締結した熱需給契約（以下
「原契約」という。）について、以下のとおり覚書を締結する。

第 1 条 甲が所有する「今治市多目的温泉保養館（クアハウス今治）」の指定管理者が丙になっ
たことに伴い、原契約第 7 条に定める料金は、丙が乙に毎月支払うこととする。

第 2 条 原契約第 8 条に定める熱料金の支払は、乙が毎月の料金を当月末までに丙に請求し、丙
は翌月末までに乙の指定する口座に振り込むこととする。

第 3 条 本覚書の有効期間は、令和 年 月 日から令和 年 月 日までとする。

ただし、原契約第 5 条第 2 項による契約の解約及び同第 12 条各号による契約の解除があ
った場合は、その期日をもって、本覚書も解約するものとする。

この覚書締結の証として、本書 3 通を作成し、甲乙丙記名押印のうえ、各自 1 通を保有する。

令和 年 月 日

甲 愛媛県今治市別宮町 1 丁目 4 番地 1
今治市長 徳 永 繁 樹

乙 香川県高松市亀井町 1 番地 3
四電エナジーサービス株式会社
代表取締役社長 高 橋 克 己

丙 〇〇〇〇

熱 需 給 契 約 書 (案)

今治市長（以下「甲」という。）と四電エナジーサービス株式会社（以下「乙」という。）とは、冷・暖房用の冷水および温水（以下「熱媒」という。）の需給に関し、次のとおり熱需給契約を締結する。

（目的）

第1条 乙は、甲が所有する愛媛県今治市湯ノ浦36番地に所在の今治市多目的温泉保養館（クアハウス今治）（以下「施設」という。）の熱需要設備に対して、必要な熱媒を供給し、甲は、これを引き受ける。

（財産の区分）

第2条 甲・乙間の財産の区分は、別紙「財産区分図」のとおりとする。

（設備の管理区分）

第3条 財産の区分の甲側に属する設備は甲において、乙側に属する設備は乙において、保守および保安の責任を負う。

2 乙は、保守等の作業のために施設に立ち入る場合は、あらかじめ甲に通知することとし、甲は、正当な理由がない限りこれを許諾する。

（施設の提供）

第4条 甲は、乙が熱供給設備の設置に要する場所を、乙に無償で貸与する。

（契約期間）

第5条 熱媒の需給契約期間は、令和 年 月 日から令和 年 月 日までの5年間とする。

2 甲は、需給契約期間内であっても、乙に対して6か月前までに書面により通知することにより、この契約を解約することができる。

ただし、甲は、解約日から需給契約期間満了までの未払い料金を精算するものとし、精算額については、第7条に定めた料金をもとに、甲乙協議のうえ決定する。

（熱媒の供給の制限・中止）

第6条 乙は、熱供給設備の保守点検等のため、熱媒の供給を制限または中止することができる。

ただし、乙は、天災地変等やむを得ない場合を除き、事前に甲に通知しなければならない。

(熱料金)

第7条 甲が乙に支払う毎月の料金は、熱媒の使用の有無にかかわらず次の金額とする。

月額：金242,000円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額22,000円）

ただし、月の途中で熱需給を終了したときの料金は、その月の暦日数により日割計算する。

2 熱供給設備の運転、保守修繕に要する電気、上下水道料金は、甲が負担する。

(料金の支払方法)

第8条 乙は、前条にもとづく毎月の料金を当月末日までに請求し、甲は、翌月末日までに乙の指定する口座に振り込む。

(秘密の保持)

第9条 乙は、委託業務の処理上知り得た秘密及び個人に関する情報(以下「個人情報」という。)を他に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(個人情報の保護)

第10条 乙は、この契約による事務を処理するため個人情報を取り扱う場合は、個人情報保護のため別添に掲げる「個人情報・特定個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

(契約の有効期間)

第11条 この契約の有効期間は、第5条に定める需給開始日から第8条第1項に定める料金の最終支払が完了するまでとする。

(契約の解除)

第12条 甲及び乙は、次の各号に該当することがあった場合、この契約の全部又は一部を解除することができる。

- (1) 地震等の天災地変により、甲所有の熱需要設備又は乙所有の熱供給設備に甚大な損害が生じ、熱媒の需給が困難となったとき
- (2) 熱供給設備に故障などの不具合が発生し、そのための修理または取り替えに要する部品や機器等が調達できない、又は現状の設置場所での修理工事が困難であるなどの理由により、運転の継続ができなくなったとき

(損害の賠償)

第13条 甲及び乙は、故意又は過失により相手方に損害を与えたときは、相手方に対しその損害

を賠償する責を負うものとする。

- 2 前条に伴う契約の解除の際においては、相手方からの損害賠償の責は一切負わないものとする。

(契約期間満了時の措置)

第14条 甲及び乙は、需給契約期間満了時の措置について、この契約を継続するか否か、また継続する場合はその条件等について満了日の1か月前までに協議のうえ決定する。

- 2 乙は、第5条に伴う契約の解約又は第11条に伴う契約の解除があった場合、又は需給契約期間満了時に契約を継続しなかった場合は速やかに熱供給設備を撤去するものとし、その撤去費用は甲の負担とする。

(協議)

第15条 この契約に定めのない事項については、今治市契約規則によるものとし、同規則の定めのない事項又はこの契約の条項の疑義については、甲乙協議して定めるものとする。

以上この契約締結の証として本書2通を作成し、甲・乙それぞれ1通を保有する。

令和 年 月 日

甲 愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1
今治市長 徳 永 繁 樹

乙 香川県高松市亀井町1番地3
四電エナジーサービス株式会社
代表取締役社長 高 橋 克 己